



南東北

- ・一般財団法人脳神経疾患研究所
- ・社会福祉法人南東北福祉事業団
- ・医療法人社団三成会
- ・医療法人社団新生会
- ・医療法人財団健貢会
- ・社会医療法人将道会
- ・医療法人謙昌会

第325号

院是「すべては患者さんのために」

URL: <http://www.minamitohoku.or.jp>
E-mail: pr@mt.strins.or.jp



泌尿器の病気について講演する深谷院長

泌尿器の中心は腎臓と膀胱です。腎臓は尿を作るところで二つあり、非常に大事な臓器です。腎臓で作ら

す。尿管が前立腺に圧迫されて排尿障害や排尿困難、尿閉が起こります。「夜中に何度もトイレに起きる」「おしっこが出るまで時間がかかる」「残尿感がある」といった男性の尿のトラブルは、前立腺肥大によるものです。

前立腺の大きさは超音波検査で分かります。治療は薬物療法が主流で、ほとんどが薬で治せるようになります。薬で治せない場合は、温熱・高温治療、経

尿道的内視鏡的前立腺レーザー切除術、前立腺組織内レーザー凝固術などの低侵襲治療を行います。根治的手術もありますが、手術が必要である方は私どもの病院で年間20人程度です。

年々増える前立腺がん患者

60歳以上の男性は毎年検査を

です。直径が5cmにもなると、尿管が前立腺に圧迫されて排尿障害や排尿困難、尿閉が起こります。「夜中に何度もトイレに起きる」「おしっこが出るまで時間がかる」「残尿感がある」といった男性の尿のトラブルは、前立腺肥大によるものです。

前立腺がんを見つかる方法はPSA検査と呼ばれる血液検査です。PSAは前立腺特異抗原、即ち前立腺に特異的なタンパク質の一種です。PSAの基準値は64歳以下なら3.0、65歳以上なら3.5、70歳以上は4.0（単位はいずれもng/ml）です。20以下で転移がなければ、前立腺がんは完治できますので、60歳以上の方は毎年PSA検査を

快適な生活を送るための泌尿器科の管理

加齢とともに頻尿になったり、尿が出にくくなったりするなど、尿に絡むトラブルで悩む人は多いようです。2月15日(金)に総合南東北病院で開かれた2月医学健康講座では、南東北医療クリニックの深谷保男院長（泌尿器科）が「快適な生活を送るための泌尿器科の管理」と題して講演しました。講演の中から男性の前立腺肥大症、前立腺がん、女性の頻尿、尿失禁、泌尿器がんに関する内容を要約し、紹介しま

2月医学健康講座

れた尿は尿管を通って膀胱に溜められ、尿道から排泄されます。男性は膀胱のすぐ下に前立腺があり、そこで作られる前立腺液が精巣（睾丸）で作られた精子と一緒にな

▼前立腺肥大症

前立腺は若いときですと直径2〜3cmですが、40代から50代にかけて大きくなります。50歳で50%、70歳で70%の人が前立腺肥大症

尿道的内視鏡的前立腺レーザー切除術、前立腺組織内レーザー凝固術などの低侵襲治療を行います。根治的手術もありますが、手術が必要である方は私どもの病院で年間20人程度です。

▼前立腺がん

前立腺がんは前立腺の外側に出にくいため、肥大型と違って症状が出にくいのが特徴です。前立腺がんの患者さんは年々増えており、来年には男性の部位別がん罹患

を受けてください。PSAが100以上なら骨やリンパ節に転移している可能性があります。転移すると腰などに激しい痛みが生じます。前立腺がんの治療は大きく分けて内分泌療法、放射線療法、手術の3つあります。内分泌療法は薬による治療で、注射と飲み薬があります。放射線療法では、当グループの南東北がん陽子線治療センターで治療を受ける方法もあります。前立腺がんの陽子線治療は保険適応となり、治療が大変受けやすくなりました。

(2面につづく)

今月号のなかみ

- ▶ 2面 = 1面のつづき、健康生活情報ナビ「花粉症皮膚炎」、最近よく聞く言葉
- ▶ 3面 = 高次脳機能障害リハビリテーション講習会、こころの健康、インターネットで初診予約
- ▶ 4面 = ゴールドメディアだより、総合南東北福祉センターだより、がん患者家族サロンほっと、陽子線治療実績、当院の目標
- ▶ 5面 = 医師志望の高校生が当院で医療体験
- ▶ 6面 = 2019年度医学健康講座の日程決まる、井上仁一郎さんのギターコンサート、専門外来「禁煙外来」
- ▶ 7面 = 増子輝彦さんのコラム、ご意見箱から、シャトルバスが通常ダイヤに、1月の手術件数・救急車台数
- ▶ 8面 = 今月の元気レシピ、薬局だより、編集後記